

第三章活用事例

小学校五・六年生版「心たくましく」
『自由』と『自分勝手』はちがう p.98
p.99

中心資料

「私たちの道徳」小学校五・六年
平成二十六年三月 文部科学省 「うばわれた自由」

【主題名】 本当の自由

第五学年及び第六学年 1-③

「自由を大切にし、自律的で責任のある行動をする。」

【ねらい】 自由を大切にし、自分の責任を踏まえた自律的な行動をしよつとする判断力を養う。

《ねらいとする道徳的価値について》五・六年生の時期の児童は、自主的に考えて行動しよつていますが、一方で、自由を捉え違えて自分勝手に行動してしまう場面も見られます。日常生活の様々な場面を振り返らせながら、自由と自分勝手との違いについて考えさせることが必要です。正しく判断し責任を果たすことで得られる真の自由を大切に、自己を高めていこつとする意欲を育むことが大切です。



「自由』とは、どのようなことでしょうか。」

○「自由』について考えさせ、ねらいとする道徳的価値に意識をむけさせましょう。

導入

○教師が「うばわれた自由」を読み聞かせましょう。



「ジェラルルは、『自由』をどのようなものと考えているでしょうか。」

○ガリユーに対するジェラルルの言葉に着目させ、ジェラルルが「自由」を自分に都合のよいように解釈していることを捉えさせましょう。



「殺されるかも知れないと思いながらも、決死の覚悟でジェラルルにうったえているとき、ガリユーはどのようなことを考えていたでしょうか。」

○ガリユーがジェラルルに何を訴えているかに着目させ、ジェラルルに本当の自由を説くために自己の正義を貫こうとするガリユーの様子を捉えさせましょう。

中心発問



「ろうやでガリユーと再会し、はらはらと涙を流しているとき、ジェラルルはどのような気持ちだったでしょうか。」

展開

○取り返しのつかない事態になってはじめて自分がまちがっていたことに気付いたジェラルルの姿を通して、本当の自由とは自分勝手とは異なり、正しく判断したり責任を果たしたりすることによってはじめて得られるものなのだという捉えさせましょう。

《評価》 本当の自由とはどのようなものであるかを理解し、その自由を大切にするために、自分の責任を踏まえた自律的な行動が求められることに気付くことができたか。



「生活をふり返り、「自由」と「責任」について考えてみましょう。」

○「心たくましく」 p.98 ～ 「自由」と『自分勝手』はちがう」を活用して、自由と責任について考えさせ、 p.99 に記入させましょう。

○教師自身が、自分勝手とはちがう本当の自由を得るために心掛けていることを、子供たちに語りましょう。

○「心たくましく」 p.26 「義務心を持っていない自由は本当の自由ではない」のことはみんなで見、本当の自由の意味を確かめて、授業のまとめにしましょう。

終末

板書例

うばわれた自由

「自由』とは、どのようなことでしょうか。」

- ◆ きまりやルールがないこと
- ◆ だれにも命令されないこと
- ◆ 自分の思い通りにできること

ジェラルルは、「自由」をどのようなものと考えているでしょうか。

- したいことを、したいようにすること。
- きまりなどにしばられないこと。

殺されるかも知れないと思いながらも、決死の覚悟でジェラルルにうったえているとき、ガリユーはどのような気持ちだったでしょうか。

- 殺されるのはこわい。しかし、自分は正しいことを言っているのだ。それを曲げることはできない。
- 王子だから勝手にふるまっていたのではなく、王子だからきまりを守り責任を果たさなければいけないのだ。
- みんなが自分のしたいことをしたいようにし始めたら、国がほろびてしまう。そんなことにならないように今ここで王子に分かってもらわなければならない。

ろうやでガリユーと再会し、はらはらと涙を流しているとき、ジェラルルはどのような気持ちだったでしょうか。

- あのととき、ガリユーが言っていたことが正しくて、自分はまちがっていたのだ。あのと気が付いていれば、こんなことにはならなかったのに。
- 自分は自由と自分勝手とを誤解していた。なんとおろかだったのだろう。
- 自分は取り返しのつかないことをしてしまった。いくらくやんでももうおそいのだ。

生活をふり返り、「自由」と「責任」について考えてみましょう。

- ◆ 自分の責任を果たすことができるから、自分で判断して行動する自由が与えられる。まず、自分のやるべきことをしっかりとやっいていこうと思う。
- ◆ だれかにめいわくをかけたたり、いやな思いをさせたら、それは本当の自由ではない。おたがいを大切に思う気持ちをもちながら、自分のしたいことを実現させていくのが、本当の自由だと思う。

《評価》 自由を大切にし、自分の責任を踏まえた自律的な行動をしよつとする判断力を育むことができたか。

※授業の前と後で、責任のある「自由」についての考えの変容を、板書で示せるとよい。